

「今後のがん研究のあり方に関する有識者会議」開催要綱

1. 趣旨

がん対策については昭和59年から開始した「対がん10ヵ年総合戦略」、平成6年から開始した「がん克服新10ヵ年総合戦略」、さらに平成16年から開始した「第3次対がん10ヵ年総合戦略」に基づき進められてきたところであるが、同戦略は平成25年度にて終了する。

平成24年6月に閣議決定された「がん対策推進基本計画」でがん研究戦略に関しては、「2年以内に、国内外のがん研究の推進状況を俯瞰し、がん研究の課題を克服し、企画立案の段階から基礎研究、臨床研究、公衆衛生学的研究、政策研究等のがん研究分野に対して関係省庁が連携して戦略的かつ一体的に推進するため、今後のるべき方向性と具体的な研究事項等を明示する新たな総合的ながん研究戦略を策定することを目標とする。」と記載されている。

がん対策については未だ克服すべき課題も多くあることから、がん研究の今後のるべき方向性と具体的な研究事項等を総合的に検討する場として本会議を開催する。

2. 検討事項

- ・これまでに行われてきたがん研究の評価について
- ・がん研究における目標について
- ・今後のがん研究における重点研究分野と支援事業について 等

3. その他

- (1) 本会議は、文部科学省研究振興局長、厚生労働省健康局長、経済産業省商務情報政策局長が協働し、別紙の構成員の参集を求めて開催する。
- (2) 本会議には、構成員の互選により座長をおき、会議を統括する。
- (3) 本会議には、必要に応じ、別紙構成員以外の有識者等の参集を依頼することができるものとする。
- (4) 本会議は原則として公開とする。
- (5) 本会議の庶務は、文部科学省、経済産業省の協力のもと、厚生労働省が処理する。
- (6) この要綱に定めるもののほか、本会議の開催に必要な事項は、座長が文部科学省研究振興局長、厚生労働省健康局長、経済産業省商務情報政策局長と協議の上、定める。

「今後のがん研究のあり方に関する有識者会議」構成員名簿

石井 榮一 愛媛大学大学院医学系研究科小児医学 教授
石川 冬木 京都大学大学院生命科学研究所 研究科長
上谷 律子 一般財団法人日本食生活協会 会長
上田 龍三 愛知医科大学医学部腫瘍免疫寄附講座 教授
後藤 俊男 独立行政法人理化学研究所創薬・医療技術基盤
プログラムディレクター
小松 研一 日本医療機器産業連合会 副会長
白岩 健 国立保健医療科学院研究情報支援研究センター 研究員
祖父江 友孝 大阪大学大学院医学系研究科環境医学 教授
田村 和夫 福岡大学医学部腫瘍・血液・感染症内科学 教授
中釜 齊 独立行政法人国立がん研究センター 研究所長
西山 正彦 群馬大学大学院医学系研究科病態腫瘍薬理学分野 教授
野木森 雅郁 日本製薬工業協会 副会長
野田 哲生 公益財団法人がん研究会がん研究所 所長
堀田 知光 独立行政法人国立がん研究センター 理事長
眞島 喜幸 特定非営利活動法人パンキャンジャパン 理事長
道永 麻里 公益社団法人日本医師会 常任理事
南 砂 読売新聞東京本社編集局 次長兼医療部長
宮園 浩平 東京大学大学院医学系研究科分子病理学 教授
門田 守人 公益財団法人がん研究会有明病院 院長
米倉 義晴 独立行政法人放射線医学総合研究所 理事長
米田 悅啓 独立行政法人医薬基盤研究所 理事長

(五十音順・敬称略)